

管内養豚場における豚熱ワクチン接種適期の検討：岡

山県津山家保 蛇島武久、山崎悠高

免疫付与状況確認検査の結果に基づき管内5農場（A～E）の豚熱ワクチン接種適期指導を実施。今年度、5農場で抗体陽性率は母豚が83.3～100%、肥育豚が90～96%。2農場で母豚の推定中和抗体価の幾何平均値が前年度より大幅に低下（B農場53.7から6.7倍、D農場147.8から36.5倍）。母豚ごとに産子の接種日齢を設定していたC農場で2年以上未検査の母豚5頭を再検査したところ、推定中和抗体価が4頭で1.6～4.4倍上昇、1頭で13倍低下しており、抗体量の変動性が示されたため群全体で一律の日齢を設定する方法に変更。適期推定精度向上のため、算出根拠の異なる従来法と改良法に加え、検討ソフト（R5.11月に農水省より配布）使用法の3つの推定法を比較。A農場R6.3月及び10月の母豚の検査結果に基づく子豚の適期は、従来法、改良法、ソフト法で22、32、28日及び11、26、28日と推定。検査による効果確認や適期推定精度向上の取組みに加え、飼養衛生管理向上による感染リスク軽減の指導を継続。